

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2000-4569 (P2000-4569A)  
【公開日】平成 12 年 1 月 7 日 (2000.1.7)  
【出願番号】特願 平 10-164637  
【国際特許分類第 7 版】  
H 0 2 K 33/06  
【F I】  
H 0 2 K 33/06

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 11 月 10 日 (2004.11.10)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 3  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 1 3】

又、組立時に交点  $C_x$  のばらつきによって、振幅が大きくなり過ぎた場合に騒音が発生したり、ばね寿命が劣化されてしまうのは、軸振れを伴う磁気回路の変位動作にあってダンパ 38 と当接される中心軸 34 の抜け止め部 34a の形状 (ダンパ 38 との当接面積が大きい断面形状が矩形の鏝部になっている) が要因となっており、この部分の構造上の改良も望まれている。